

◆中世

難攻不落の名城といわれた
牛ヶ城

この時代、須賀川・岩瀬郡に覇をとんでいた二階堂氏も戦国末期の天正17年(1589)ついに滅亡。残された家臣、矢田野阿波守が居城とした「牛ヶ城(大里城)」に仙台藩祖・伊達正宗の軍勢が攻め入ったときの様子が『仙道軍記』に残されています。そこには「正宗より石川昭光、片倉小十郎兩人に命じ、大里城を二重、三重に取巻き攻めけれども名城なれば落ちず」という記述を見ることができ、旧二階堂家臣の士気盛んな戦いぶりをうかがい知ることができます。

◆近世

幕藩社会の中で生まれた宿場町

幕藩体制の成立から崩壊(1590〜1868)という大きな時代のうねりの中で岩瀬郡一帯は、次々とその支配者を変えていきました。そして、たくさんの人々がこの地域を往来する中で、宿場町も誕生しました。天栄村には、およそ350年前、江戸時代から続いた宿場町「牧之内宿」がノスタルジックな面影を現代に漂わせています。残念ながら、当時のように茅葺き屋根の旅籠が建ち並ぶ姿を見ることはできませんが、間口が狭く奥行きのある宿場町特有の町割は現存しています。村を歩くと、「本陣」「柏屋」「江戸屋」「河内屋」など今でも昔の屋号で人々が呼び合っているのを知ることができます。



◆龍ヶ塚古墳

今から1400年前に作られた前方後円墳。当時、この地域を支配していた石背国造第五世の建磐主命の墓といわれています。昭和55年に福島県重要文化財に指定。



◆法燈国師座像

鎌倉時代末期に作られた高さ80.5cmの寄木造りの彫像。法燈国師は東大寺や高野山で修行した鎌倉時代の高僧で、中国から日本へ味噌の作り方を伝授した人物としても有名です。昭和42年に福島県重要文化財に指定。



◆牛ヶ城跡

およそ500年前室町時代に築かれた山城。二階堂家の家臣、矢田野阿波守がこの城を守っていたといわれます。天正18年(1590)に仙台藩の片倉小十郎と石川昭光の大軍を籠城戦で退けました。

◆まぼろしの焼き物「後藤焼」の謎に迫る

天心塾

村内の後藤地区で今から90年ほど前まで焼かれていたという「後藤焼」を復元しようという「天心塾」のメンバー15名。塾長の江連利夫さんを筆頭に平成9年に結成されました。

後藤焼の手がかりはほとんど残されておらず、窯跡が残るのみ。天心塾では考古学者などを招き、まだまだ謎の多い後藤焼の神秘を探り続けようと夢をふくらませています。



◆天栄村ふるさと文化伝承館
ふるさとの歴史が一目でわかる
マルチスポット

「天栄村ふるさと文化伝承館」は、村の文化と伝統を次世代へと受け継いでいくための学習の場をつくらうと平成10年に完成しました。館内は、伝統的なふるさとの文化を学ぶ「伝習室」と「展示室」に分けられています。展示室は、「原始・古代」「中世」「近世」「近現代」とテーマ別に分類され、村の歴史を知る貴重な資料とともに分かりやすく展示されています。他にも、昭和初期の農家の暮らしや伝統産業を紹介するコーナーなどもあり、村の文化の拠点として広く利用されています。

